

JVCケンウッドグループの事業概要

培った技術・ノウハウで、お客さまの課題を解決する
「顧客価値創造企業」を目指して



オートモーティブ分野 (アフターマーケット事業、OEM 事業)

オートモーティブ分野は、主にカーナビゲーションやカーオーディオ、ドライブレコーダー、車載用デバイスを展開しており、量販店や代理店などを通じてお客さまに商品を提供する「アフターマーケット事業」と、“用品”と“純正”の2つのビジネスユニットにより、自動車メーカー/ディーラーを通じて商品を提供する「OEM 事業」で構成されています。



パブリックサービス分野 (無線システム事業、業務用システム事業、ヘルスケア事業)

パブリックサービス分野は、業務用無線システムやアマチュア無線機器を手掛ける「無線システム事業」と、グループ会社の株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システムが手掛け、監視カメラや業務用音響システムなどを展開する「業務用システム事業」、および、医用画像表示用モニターや視線計測装置「Gazefinder (ゲイズファインダー)」を手掛ける「ヘルスケア事業」で構成されています。



メディアサービス分野 (メディア事業、エンタテインメント事業)

メディアサービス分野は、業務用ビデオカメラ、プロジェクターなどの“ソリューション”、民生用ビデオカメラやヘッドホンなどの“ライフスタイル”、映像表示素子などの“映像デバイス”の3つのビジネスユニットで事業展開する「メディア事業」と、株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメントを核とした“コンテンツビジネス”および“受託ビジネス”を手掛ける「エンタテインメント事業」で構成されています。



オートモーティブ分野



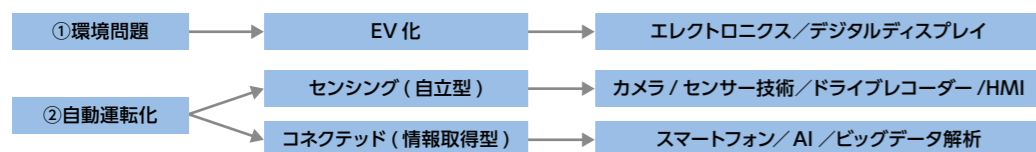
主な商品

カーナビゲーション、カーオーディオ、ディスプレイオーディオ、ドライブレコーダー、車載カメラ、車載用光ピックアップ、車載用 CD/DVD メカ、スピーカー、アンプ、アンテナなど

取締役 常務執行役員
 オートモーティブ分野責任者
 オートモーティブ分野 OEM 事業部長
 EMEA 総支配人
野村 昌雄

安心・安全で快適な車社会への貢献を目指して

現在、自動車業界は、将来の環境問題（CO₂/NOx 排出規制）や自動運転社会へ向けた対応を求められています。環境問題では、自動車の EV (Electric Vehicle) 化への対応として高度なエレクトロニクス技術が求められ、スピードメーター類などのデジタル化が進展しています。また、自動運転社会では、カメラや各種のセンサー技術が求められるとともに、コネクテッド化されることで、クラウド活用による車両情報や交通情報の車載インフォテインメントシステムへの表示なども可能になります。さらに、AI (人工知能) を活用することで、より正確で適正な情報やサービスをドライバーに提供できるようになります。



このような自動車の進化に伴い、車両とドライバーのコミュニケーション（HMI：Human Machine Interface）がより重要となるなど、これまでの自動車業界で求められてきたものとは異なる技術が求められています。当社はこれらの変化に柔軟に対応し、カーナビゲーションやドライブレコーダーなど強みとなる映像や音響、通信の技術を生かしたソリューションやサービスを通して、安心・安全で快適な車社会への貢献を目指していきます。

アフターマーケット事業

アフターマーケット事業は、「高画質」と「高速レスポンス」「高音質再生」を実現し、シェアを拡大している国内の“彩速ナビ”や、欧米でトップクラスのシェアを誇るナビゲーションやディスプレイオーディオなどを展開。車載機器をコネクテッド化する Apple CarPlay/Android Auto™に対応することで、市場から高い評価をいただいています。

また、自動車ユーザーの安心・安全意識の高まりを受けて、既存車両に後付けできるドライブレコーダーの普及が急速に進んでいます。当社のドライブレコーダーは、これまで培ってきた車載技術と映像・光学技術の融合により、高機能・高信頼性・高画質録画を実現するとともに、安全運転をアシストできる運転支援機能を搭載することで、国内市場で業界トップクラスのシェアを獲得しています。今後は海外市場で本格的に展開するとともに、自動車のコネクテッド化に向けて通信機能の搭載といった高機能化も進めていきます。



“彩速ナビ” [MDV-Z905W]



ドライブレコーダー [DRV-830]

OEM 事業

OEM 事業では、用品（ディーラーオプション）事業領域において、カーナビゲーションやドライブレコーダーの提案活動を強化しており、アフターマーケット市場での高評価や高い商品力により、大手日系自動車メーカーを中心に大型案件の受注獲得が進んでいます。純正事業領域については、特定車種向けに専用設計したディスプレイオーディオを展開し、好調に推移しています。

また、当社では、自動車の EV 化および自動運転社会の実現に向けて、今後の成長が期待される車載カメラや各種センサー技術の開発に取り組んでいます。当社がこれまで培った映像、音響、通信技術を生かした車載光学関連事業に加え、HMI 技術を生かした次世代車空間への提案を強化し、事業成長を図っていきます。

さらに、純正事業領域の拡大に向けて、2013 年 6 月に子会社化した車載用 CD/DVD メカの Tier2 メーカーである JVCKENWOOD Hong Kong Holdings Limited (旧 Shinwa International Holdings Limited)、2015 年 4 月に子会社化した車載用スピーカー、アンプ、アンテナ、ケーブル製品の Tier1/2 サプライヤーである ASK Industries S.p.A. との協業により、お互いの顧客ネットワークや生産拠点の活用によって新規顧客の獲得に取り組んでいきます。今後は特に、世界一の自動車市場であり大きな成長が期待できる中国での事業強化を目指します。



ASK 社 車載用デバイス



次世代車空間イメージ

パブリックサービス分野



主な商品

業務用無線機器、アマチュア無線機器、監視カメラ、業務用放送機器、医用画像表示用モニター、エクソソーム解析システム、Gazefinder など

執行役員
パブリックサービス分野責任者
鈴木 昭

無線システム事業

無線システム事業は、世界各国の警察・消防・救急などのパブリックセーフティ市場や、電気・水道・ガスなどのパブリックサービス市場、およびホテル・小売業などの民間市場に信頼性の高い業務用無線システムを供給しており、高いマーケットシェアを有しています。

今後も市場規模の継続拡大が見込まれる北米のパブリックセーフティ市場においては、米国無線システム子会社の Zetron, Inc. および EF Johnson Technologies, Inc. との連携を強化し、北米向けデジタル無線規格「P25」に対応した業務用無線トータルソリューション事業を推進します。

また、デジタル無線規格「NXDN™」に対応した業務用デジタル無線システム「NEXEDGE®」を世界各国に展開し、パブリックサービス市場をはじめとする幅広いユーザーの課題を解決するデジタル無線ソリューションの提供を目指します。

さらに、民間市場などでアナログ無線の置き換え需要が高まっているデジタル無線規格「DMR (Digital Mobile Radio)」



“MotoGP™”に採用されている
当社「DMR」無線システム

に対応した中継器などを手掛けるイタリアの Radio Activity S.r.l. を 2018 年 1 月に子会社化。無線インフラのブロードバンド化に対しては、業務用 LTE スマートフォン事業において業界を牽引する米国の Sonim Technologies Inc. と資本業務提携を締結し、同社との協業による製品を米国と日本を皮切りに市場導入を進めています。今後も世界各国で進展している無線通信手段およびサービスの多様化に向けた取り組みも推進していきます。

業務用システム事業

業務用システム事業は、グループ会社の株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システムが手掛けており、さまざまな課題を解決する“ソリューションプロバイダー”として、お客さまに安心・安全・快適・信頼の提供を目指しています。教育や公共、流通、社会インフラ、アミューズメントといった広範囲な市場に向けて、当社の高度な技術・ノウハウに基づく信頼性の高い映像・音響システムなどの製造・販売に加え、「課題解決のためのシステム提案と設計」「高い品質の施工」「長期間にわたり安心して使用できる保守・整備および運用サービス」など、トータルソリューションをワンストップで提供しています。

また、他社とのパートナーシップにも積極的に取り組み、複数の監視カメラ映像をリアルタイムでビデオ解析できる「IVA (インテリジェントビデオ解析システム)」や、株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメントが企画・開発した独自の空間音響デザインソリューション「KooNe (クーネ)」など、これまでの型にとらわれない幅広いソリューションを展開。これらのソリューションを広く訴求するため、2017 年 10 月に初のプライベートショー「ソリューションフェア」を開催するなど、販売拡大に取り組んでいます。

今後も、営業からシステム提案、エンジニアリング、サポートまで含めた一体組織化によるソリューション提案力を強化するとともに、当社グループにとどまらず他社との協業も含めたソリューション提案により、お客さまのニーズに応える“ソリューションプロバイダー”を目指します。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、独自のディスプレイ・テクノロジーにより、医用画像表示に要求される高次元の「表示性能」と「安定性」を実現したマンモグラフィ画像表示モニターをはじめとする各種放射線用の医用画像表示用モニターや、当社独自のカラーマネジメント技術を生かした病理用画像表示モニターを展開しています。

これらのモニターに加え、今後の事業強化に向けて、2018 年 5 月にドイツの Rein Medical GmbH を子会社化することで、OR*映像ソリューション事業へ本格的に参入するとともに、長年培ってきた映像技術を生かした 8K/4K カメラシステムソリューションなどの商品化を推進し、ヘルスケア分野における総合的な映像事業の展開を図ります。

さらに、当社独自の注視点検出技術を活用した発達障がいなどの早期診断を支援する視線計測装置「Gazefinder (ゲイズファインダー)」をはじめ、国立研究開発法人国立がん研究センターや第一三共株式会社、シスメックス株式会社と共同研究を進めている光ディスク技術を応用したがんなどの早期診断システムなど、先進的で画期的な検査・診断システムを創出し、社会課題の解決を図るとともに事業成長を目指します。

*Operating Room (手術室) の略。



Sonim 社 業務用 LTE スマートフォン



セキュリティシステム/音響システム



IVA(インテリジェントビデオ解析システム)



医用画像表示用モニター



Rein Medical 社 OR 映像システムソリューション

メディアサービス分野



主な商品

業務用ビデオカメラ、プロジェクター、ヘッドホン、AVアクセサリ、民生用ビデオカメラ、ホームオーディオ、映像デバイス、音楽・映像などのコンテンツ/受託ビジネスなど



執行役員
メディアサービス分野責任者
メディアサービス分野 メディア事業部長

林 和喜

メディア事業

ソリューションビジネスユニットでは、プロフェッショナル分野のニーズに応える高精細ビデオカメラやモニター、産業用映像システムなど、当社が長年培ってきた映像技術を生かした機器を展開しています。また、当社独自開発の映像表示素子「D-ILA」デバイスを搭載することで、フライトシミュレーターやプラネタリウム、自動車デザイン、ホームシアターなどで使用される高精細かつ高輝度を実現するプロジェクターの開発・販売に取り組んでいます。今後はさらに、IoT (Internet of Things) による放送やビジネス形態の多様化、「8K/4K」など高画質化の進展、2020 年に向けたスポーツ産業の拡大など急速に変化する顧客ニーズに柔軟に対応すべく、機器やサービスの提供にとどまらず、システム化・カスタマイズ化などで、顧客ニーズにスピーディーにお応えできるソリューションビジネスへの転換を進めていきます。



フライトシミュレーター



HD メモリーカード カメラレコーダー

ライフスタイルビジネスユニットでは、独自の高度な音響技術を生かしてワイヤレスながら高音質再生を実現する Bluetooth® 対応モデルやスポーツ向け、ハイレゾ対応モデルなどの目的・用途別に特化したヘッドホンや、木の振動板を使用したウッドコーンシリーズなどのホームオーディオシステム、アウトドアやスポーツでの使用を想定した長時間録画再生・全天候対応型モデルに加え、ホームモニタリングなどの提案型製品ヘシフトを進めるビデオカメラなどの開発・販売を行っています。

また、ヘッドホンリスニングでもスピーカーで聴いているかのような、リアルな音場効果をもたらす当社独自の頭外定位音場処理技術「EXOFIELD (エクソフィールド)」を搭載した音場特性カスタムサービス「WiZMUSIC (ウィズミュージック)」などといった、これまでにない尖った商品・サービスの提供を目指します。

映像デバイスビジネスユニットでは、「D-ILA」デバイスの外部販売や新規用途の拡大、ピコ素子の本格生産、VR (Virtual Reality) 用ヘッドマウントディスプレイなど次世代の映像デバイスにも取り組み、世界市場での事業拡大を図っています。



完全ワイヤレススポーツヘッドホン
[HA-ET900BT]



ウッドコーンオーディオシステム
[EX-HR11]



音場特性カスタムサービス
[WiZMUSIC]



4K メモリームービー
“Everio R” [GZ-RY980]

エンタテインメント事業

株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント (以下、「VE」) を核としたコンテンツビジネスでは、ユーザー嗜好の多様化やデジタル音源による定額聴き放題サービスの伸長などを背景に、エンタテインメント業界の大きな環境変化の中でもヒット作品を創出し続けるため、積極的な新人アーティストの発掘・育成を通じてコアである音楽事業の拡充を目指しています。2014 年以降毎年開催しているロックフェスティバル「ビクターロック祭り」は 5 周年を迎えるとともに、2016 年からは大阪でも開催するなど、VE を代表する数多くのアーティストが出演するライブ・イベントとして人気を博しています。

また、空間音響プロデュース事業として、空間の居心地を向上させるハイレゾ・サウンド・システムによる空間音響デザインソリューション「KooNe (クーン)」を展開しており、グループ会社の株式会社 JVCケンウッド・公共産業システムとの協業により、多くの企業オフィスやコワーキングスペース、図書館、カーディーラーを含む商業施設、住宅施設、医療関係施設などへ導入を果たしています。



空間音響デザインソリューション
[KooNe (クーン)]

CD、DVD、BD ソフトのパッケージ生産を中心とした受託ビジネスでは、マスタリング、オーサリングからお客さまのご要望に合わせたパッケージメディアづくりまでフルサポートしています。2016 年には、当社グループ全体の企業価値向上のため、パッケージの製造受託を行っている株式会社 JVCケンウッド・クリエイティブメディアを横須賀工場内へ移転しました。

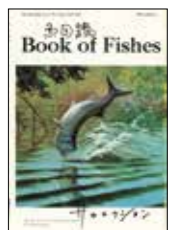
今後はアーティストと音楽の魅力を多方面のビジネスにつなげ、マネジメント事業、ライブ・イベント事業、マーチャндаイジング事業など総合エンタテインメント事業の成長を加速させて、総合力強化を図っていきます。



桑田佳祐



星野 源



サカナクション



高橋真梨子



家入レオ

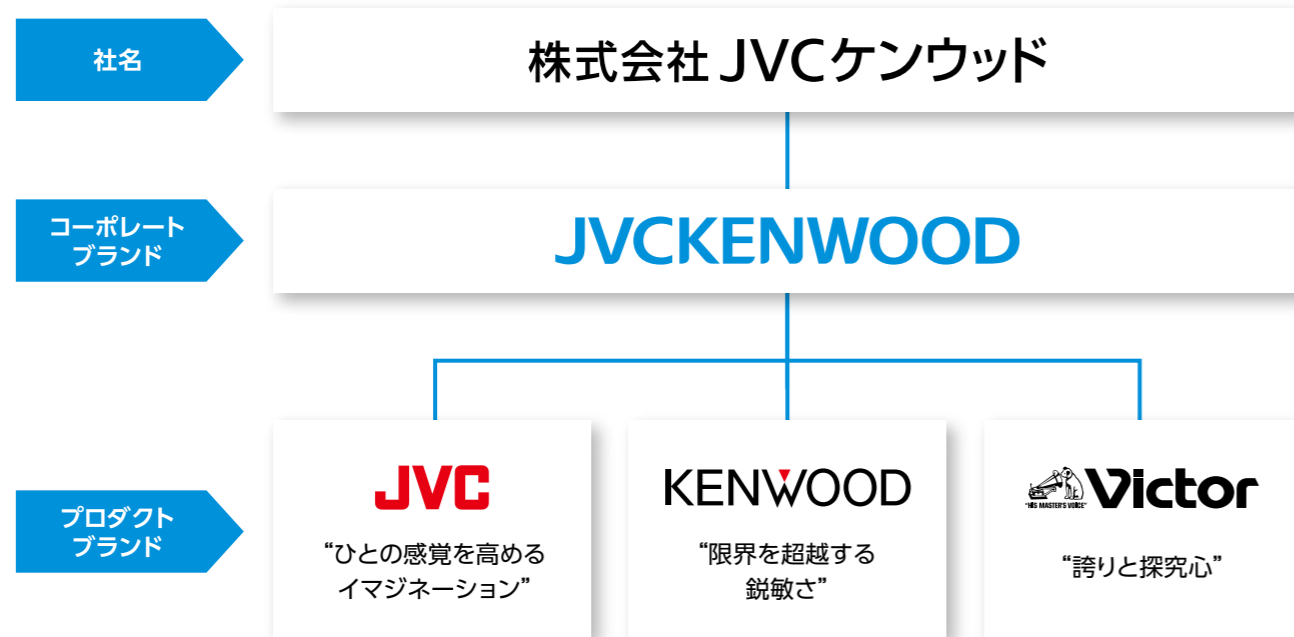


大原櫻子

ブランド価値向上への取り組み

ブランド体系

コーポレートブランドの傘下に複数のプロダクトブランドを有する「マルチ・ブランド戦略」を推進しています。各ブランドビジョンである“ひとの感覚を高めるイマジネーション”、“限界を超越する鋭敏さ”、“誇りと探究心”を、お客さまの体験価値として分かりやすく、事業活動と連動したスポンサーシップやプロモーション活動を通じて具体的にお伝えできるよう取り組んでいます。そして、それぞれの強みを生かすことで、グループ全体の企業価値最大化を実現します。



スポンサーシップ活動

“MotoGP™” オフィシャル・サプライヤー

当社のデジタル無線システム（国際規格“DMR*”に対応）が世界最高峰の二輪レース“MotoGP™”の運営通信手段として採用され、毎グランプリ約400人の運営スタッフのコミュニケーションツールとして使用されています。2018年から3シーズンのスポンサーシップを締結し、当社デジタル無線システムの“高い信頼性”を訴求していきます。

※DMR：[Digital Mobile Radio] の略



マクラーレン オフィシャル・サプライヤー

1991年に名門マクラーレンF1チームとオフィシャル・サプライヤー契約を締結して以来、専用無線システムの開発・供給と専任エンジニアによるサーキット現場でのサポートを通じ、27年間にわたってパートナーシップを継続しています。その長い歴史から創出されたKENWOODブランドの価値は、現在に受け継がれています。



Modulo Drago CORSE・サブスポンサー

国際的なモータースポーツ振興のため、オートモティブの事業活動とも連動し、ツーリングカー（市販車改造車）による国内最高峰のレース“SUPER GT”2018シリーズGT300クラスに参戦するレーシングチーム「Modulo Drago CORSE」にサブスポンサーとして協賛しています。



レーシングカー“Modulo KENWOOD NSX GT3”

マリオ・モラ選手 × ヘッドホン「AE」

JVCブランドで展開するスポーツ用ヘッドホン「AE」シリーズにおいて、スペイン人トップトライアスリートのマリオ・モラ選手をスポンサー。カタログやWEBコンテンツ、プロモーションビデオ内で同選手を活用したプロモーションを全世界で展開中です。



マリオ・モラ選手
(2016年、2017年ITU世界トライアスロンシリーズチャンピオン)

プロモーション活動

ターゲットユーザーに応じて、メディアを通じたさまざまなプロモーション活動の実施や、重要なコミュニケーションの場である各種イベントへの出展をしています。また、SNSなどのオウンドメディアも活用し、タイムリーな情報を発信しています。各ブランドの個性を重視して展開することで、それぞれのブランド価値を総合的に高めるよう取り組んでいます。



JVC ヘッドホンレーベル「N_W(エヌダブ)」
(駅構内のポスター広告)



KENWOOD ドライブレコーダー
(電車内デジタルサイネージ広告)



JVCKENWOOD Facebook
JVC Twitter



世界最大級のエレクトロニクスショー
[CES 2018]



世界最大の放送機器展
[NAB 2018]



世界最大規模の業務用無線通信機器/
システムの展示・商談会 [IWCE 2018]